

社会福祉法人ちいろば会 職員のキャリアパス(2019年度改定版)

—職員の目指すべき職員像—

歴年数	目指すべき職員像	利用者への処遇	組織人としての対応	俸給
1	・通常のルーティンの業務については滞りなく遂行できる(利用者への通常の支援、介助、報告、記録、掃除等)	・ちいろば園利用者の顔、名前を理解して適切なコミュニケーションをはかることができ、通常の支援、介助が一人で遂行できる	・社会人として、適切な言葉づかいができる ・業務に関することで分からない事や疑問を質問して、知識を習得している	1級
2	・通常業務については任せられ、わからないことは先輩や主任に質問することができる	・利用者への日常の支援に加えて、レクリエーションなど、非日常的な支援を企画できる	・来客時や電話対応ができる ・上司への報告、相談ができる	
3	・非定型な業務にも積極的にかかわり、業務内容を把握できるようになる(行事、外部の催し等)	・個々の利用者の特性が把握でき、個別支援計画に基づく制御的な支援が実行できる	・本法人の各種規程、マニュアルに目をとおして、必要な部分を通読している ・必要な知識を学ぶための実践をおこなっている	
5	・非定型な業務を責任をもって遂行できる	・個別支援計画に基づき、予防的な支援を実行できる。 ・利用者の障害特性に応じた支援ツールが作成できる	・日常業務において本法人の規程、マニュアルに基づく行動がとれる	2級
	・障害福祉に関連する制度を理解して、根拠法に基づくサービス提供の仕組みが理解できる	・PDCAサイクルに基づき、サービス提供を行うことができる。	・本法人の規程、マニュアルに基づき、後任指導ができる	
10	・関係機関や他事業所と連携した支援が実施できる ・各事業におけるフォローシップを発揮して業務遂行できる	・本法人の基本的支援方針に基づき、支援計画を作成することができる	・課題に対する予防的な報連相が実行できる	3級
		・中長期的視点からの支援を考慮した支援計画の作成や助言を行い、サービス提供における具体的な後任指導ができる	・主任として、的確な現場指導助言を行い、労務管理の基礎を実行することができる	
	・現場をけん引する信頼されるリーダー ・利用者、家族、関係機関からも信頼される組織を代表するリーダー職員	・サービス提供における如何なる場面においても、的確な判断を行い、現場職員へ具体的な指示ができる	・組織の課題抽出を行い、必要な改善策を提案することができる	4級
・適切な事業運営を行う管理職 ・事業継続に必要な多角的な知識を有し、理事として経営責任をもって事業を遂行できる	・利用者の長期的な地域生活を考慮した支援を考え、フォーマル、インフォーマルな支援を提供することができる	・事業継続のための中長期的課題を抽出して、必要な対応を実行できる		